

平成 20 年 3 月 24 日
健康福祉事業本部
福祉部高齢社会対策課

平成 18 年度練馬区練馬地区公的介護施設等整備計画について

1 公的介護施設等整備計画について

公的介護施設等整備計画は、地域における公的介護施設等の計画的な整備等の促進に関する法律（平成元年法律第 64 号）第 4 条に基づき、日常生活圏域ごとに、作成した計画である。なお、この計画を国が採択した場合、交付金が交付され、整備後にその評価を行うものとされている。

練馬区は練馬地区において、平成 18 年 6 月に、夜間対応型訪問介護の実施のために必要な設備整備事業の計画を策定し、国の採択を受けた。本計画の夜間対応型訪問介護事業所は、平成 18 年 11 月に事業を開始し、計画を達成したので、別紙「評価表（案）」のとおり評価を行う。

2 整備の概要

名 称	ジャパンケアサービス ハッピー中村橋・夜間対応型訪問介護
法 人 名	株式会社 ジャパンケアサービス
所 在 地	練馬区貫井 1-1-2 YKビル
整 備 内 容	オペレーションセンターシステム 1 セット ケアコール端末 120 台
事 業 開 始 日	平成 18 年 11 月 1 日

3 ジャパンケアサービスハッピー中村橋・夜間対応型訪問介護の月登録者数等実績

年 月	登録者数	平均介護度	コール数	訪問数	定期巡回	随時訪問(I)	随時訪問(II)	その他
18 年 11 月 (事業開始時)	2	3.5	0	0	0	0	0	0
19 年 11 月	28	3.6	27	133	125	2	4	2
20 年 2 月	47	3.2	89	192	166	15	6	5

※ 平成 20 年 3 月現在の登録者数は 51 名。

※ 随時訪問(I) 1 人の利用者に対して 1 人の訪問介護員

※ 随時訪問(II) 1 人の利用者に対して 2 人の訪問介護員

評 価 表 (案)

計画名	平成18年度練馬区練馬地区公的介護施設等整備計画	都道府県名	東京都					
		市町村名	練馬区					
計画期間	平成18年度 ~ 平成18年度	日常生活圏域	練馬地区					
計画内容	目標 (面的な配置構想)	区内で最も市街化が進んでいる地区であり、西武池袋線、都営地下鉄大江戸線等交通の便がよく、商業、文化、公共施設など、区を中心として開発されたエリアである。地区の高齢化率は区平均より低い、後期高齢化率は区平均より高く、また、要介護3以上の重度の認定者率も区平均より高く、高齢者のいる世帯のうち単身や高齢夫婦のみ世帯の割合は最も高い。日常生活圏域内において、認知症高齢者などを地域で支え、生活が続けられるための拠点を整備していく必要がある。単身や高齢夫婦のみ世帯の割合が最も高いこの地区において、新たに創設された夜間対応型訪問介護事業の立ち上げとサービスの提供を早期に実現するため、18年度は単年度の計画とし、夜間対応型訪問介護事業に対する設備整備支援を目標とする。夜間対応型訪問介護事業拠点と地域包括支援センターとの連携を図り、地域の高齢者が安心して居宅生活を可能な限り継続することを目指していく。						
	整備事業	種類	施設数	定員数	総事業費	対象経費	18年度交付額	19年度交付額
	夜間対応型訪問介護の実施のために必要な事業	1		32,760,000	30,000,000	30,000,000	0	0

指標名	施設整備の進捗状況	計画時現況	18年度		19年度		20年度		累計		進捗率 (%)	
			施設数	定員数	施設数	定員数	施設数	定員数	施設数	定員数	施設数	定員数
指標①	夜間対応型訪問介護事業所	目標値	0	—	1	—	—	—	1	—	100.0	—
		実績値	0	—	1	—	—	—	1	—		
	目標値											
	実績値											
	目標値											
	実績値											

指標名	事業費の支出状況	経費区分	18年度		19年度		20年度		累計	
			計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
指標②	夜間対応型訪問介護の実施のために必要な事業	総事業費	計画値	32,760,000	0	0	32,760,000			
			実績値	32,760,000			32,760,000			
		対象経費	計画値	30,000,000	0	0	30,000,000			
			実績値	30,000,000			30,000,000			
		交付金交付額	計画値	30,000,000	0	0	30,000,000			
			実績値	30,000,000			30,000,000			
		総事業費	計画値							
			実績値							
		対象経費	計画値							
			実績値							
		交付金交付額	計画値							
			実績値							

	項目	評価区分	評価の判断理由等
評 価	施設整備の進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> A目標とする整備が完了している <input type="checkbox"/> B目標とする整備が進んでいない	夜間対応型訪問介護事業所の整備が予定どおり完了し、平成18年11月1日に事業が開始された。
	整備量と経費の比較	<input checked="" type="checkbox"/> A適切である <input type="checkbox"/> B適切ではない	商品売買契約書および設備概要等を確認し、夜間対応型訪問介護事業の運営に必要な設備と認められた。
	要因分析	内部要因	第3期介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画で、練馬地区に夜間対応型訪問介護事業所が必要な施設と位置付けたことにより、整備事業が具体化した。
		外部要因	夜間対応型訪問介護事業実施のために必要な事業について国の交付金制度が創設された時期と、第3期介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画による練馬地区の夜間対応型訪問介護事業所の整備時期が一致した。
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> A良好に進んだ <input type="checkbox"/> B良好に進まなかった	平成18年度中に整備が完了し事業を実施することが出来た。

練馬区練馬地区

公的介護施設等整備計画

平成18年度

【対象区域】

旭丘、小竹町、栄町、羽沢、豊玉上
豊玉中、豊玉南、豊玉北、中村、中村南
中村北、桜台、練馬、向山、貫井

平成18年 6月

練馬区

市町村整備計画書

計画名称 平成18年度練馬区練馬地区公的介護施設等整備計画

都道府県名 東京都 市町村名 練馬区 区域 練馬地区

計画番号 13120-001

計画期間 平成18年度～平成18年度

1. 公的介護施設等の整備に関する目標

区内で最も市街化が進んでいる地区であり、西武池袋線、都営地下鉄大江戸線等交通の便がよく、商業、文化、公共施設など、区を中心として開発されたエリアである。地区の高齢化率は区平均より低いが、後期高齢化率は区平均より高く、また、要介護3以上の重度の認定者率も区平均より高く、高齢者のいる世帯のうち単身や高齢夫婦のみ世帯の割合は最も高い。日常生活圏域内において、認知症高齢者などを地域で支え、生活が続けられるための拠点を整備していく必要がある。単身や高齢夫婦のみ世帯の割合が最も高いこの地区において、新たに創設された夜間対応型訪問介護事業の立ち上げとサービスの提供を早期に実現するため、18年度は単年度の計画とし、夜間対応型訪問介護事業に対する設備整備支援を目標とする。夜間対応型訪問介護事業拠点と地域包括支援センターとの連携を図り、地域の高齢者が安心して居宅生活を可能な限り継続することを目指していく。

2. 日常生活圏域における公的介護施設等の整備状況

公的介護施設等の種類	施設数			定員			公的介護施設等の整備の目標を定めるに当たっての留意すべき課題
	(開所分)	(整備分)	(合計)	(開所分)	(整備分)	(合計)	
① 特別養護老人ホーム	3	0	3	173	0	173	地域密着型サービスへの民間事業者の参入意向を斟酌するとともに、住民の持ち家率の高さ、独居・高齢世帯の増加等の状況を踏まえ、公的介護施設等との連携や協力体制の構築を図ることが必要である。
② 老人ショートステイ用居室	3	0	3	18	0	18	
③ 老人保健施設	1	0	1	72	0	72	
④ 訪問看護ステーション	8	0	8	—	—	—	
⑤ 小規模多機能型居宅介護拠点	0	0	0	0	0	0	
⑥ 認知症高齢者グループホーム	3	1	4	45	9	54	
⑦ 認知症対応型デイサービスセンター	3	0	3	44	0	44	
⑧ 介護予防拠点	1	0	1	—	—	—	
⑨ 地域包括支援センター	1	0	1	—	—	—	
⑩							

3. 計画の作成等に係る住民の意見の反映

①住民意見の反映の仕組み

区ホームページに掲載する。

②整備目標に対する住民意見の反映

整備目標に対する意見はなかった。

4. 事後評価の方法等

①評価の実施時期

今計画は18年度の単年度計画であるため、19年度に評価を行うものとする。

②評価の方法

施設整備の進捗状況、事業費の支出状況、事業者間の連携状況などについて、介護保険運営協議会で評価する。

③評価の手順

介護保険運営協議会で評価する。評価結果は区ホームページなどで区民に公表する。
介護保険運営協議会は、介護保険事業計画に関する重要な事項等を審議する目的で設置され、被保険者、福祉関係団体、介護サービス事業者、学識経験者等から組織されている。

5. 客観的指標関係（指標1～指標3関係）

① 当該市町村における65歳以上人口の増加率（指標1関係）

区分	平成17年	1年後	2年後	3年後	4年後	5年後	6年後	7年後	8年後	9年後	10年後
65歳以上人口	117,302人	121,261人	125,696人	129,447人	133,221人	135,916人	136,951人	138,697人	142,952人	146,867人	150,320人
増加率		3.38%	3.66%	2.98%	2.92%	2.02%	0.76%	1.27%	3.07%	2.74%	2.35%

(出典) 練馬区年齢別人口推計表(平成17年7月)

② 65歳以上のひとり暮らし又は65歳以上の夫婦のみの世帯の割合（指標2関係）

(A) 高齢者のいる世帯数	(B) 高齢者単身世帯数	(C) 高齢者夫婦世帯数	指標2 ((B) + (C)) / (A)
19,639世帯	7,873世帯	4,461世帯	62.80%

③ 介護保険3施設及び介護専用居住系サービスの定員数の要介護2以上の認定者数に対する割合（指標3関係）

(A) 指定介護老人福祉施設の定員数	173人	(G) 地域密着型特定施設の定員数	0人
(B) 地域密着型介護老人福祉施設の定員数	0人	(H) 要介護2以上の認定者数	2,412人
(C) 介護老人保健施設の定員数	72人	指標3 ((A) + (B) + (C) + (D) + (E) + (F) + (G) / (H))	
(D) 指定介護療養型医療施設の定員数	70人		%
(E) 認知症高齢者グループホームの定員数	54人		15.2985
(F) 介護専用型特定施設の定員数	0人		

6. 目標達成のために必要な公的介護施設等の整備事業、その費用の額及び交付予定額等

① 地域介護・福祉空間整備交付金に係る分（地域密着型サービス拠点の整備中心、既存資源の活用）→指標4、指標6関係

(単位：千円)

番号	公的介護施設等の種類	単位		既存資源の活用 活用する既存資源及びその状況	対象経費の 実支出(予定)額	配分基礎 単価	加算額	交付 (予定)額	18年度交付 (予定)額	19年度交付 (予定)額	20年度交付 (予定)額
		施設数	ユニット数								
	介護給付等対象サービス等を提供する施設										
①											
②											
③											
④											
⑤											
⑥											
⑦											
⑧											
合 計				—	0	0		0	0	0	0

特別法等の適用 沖縄 公害 地震 特豪

② 地域介護・福祉空間推進交付金に係る分

(単位：千円)

番号	事業の具体的内容	対象経費の 実支出(予定)額	配分基礎 単価	交付 (予定)額	18年度交付 (予定)額	19年度交付 (予定)額	20年度交付 (予定)額
⑨	夜間対応型訪問介護の実施のために必要な設備整備支援事業	30,000	30,000	30,000	30,000	0	0
⑩							
⑪							
⑫							
合 計		30,000	30,000	30,000	30,000	0	0

7. 政策的指標関係(指標5、指標7～指標10関係)

※以下については、6の①「地域介護・福祉空間整備等交付金に係る分」について記載すること。

① サービス拠点相互の連携によるネットワーク形成を目指したもの →指標5関係

番号	事業内容及び指標5に該当する具体的な根拠
9	夜間対応型訪問介護事業拠点と、日中利用されている訪問介護事業所等や地域包括支援センターとの連携を図っていく。区では事業者連絡会議を平成17年5月27日から月1回ペースで実施し、サービス拠点相互の連携、ネットワーク形成を目指している。新規参入予定事業者には同会議への出席を働きかけてきたところである。平成18年度からは、練馬区介護サービス事業者連絡協議会への参加を指導し、ネットワーク形成を推進していく。

② 元気な高齢者や地域住民が参加する「共生型」のコミュニティづくりを目指したもの →指標7関係

番号	事業内容及び指標7に該当する具体的な根拠
9	夜間対応型訪問介護事業拠点において、近隣住民等に対する夜間ケアの勉強会の実施や、家族介護者教室の開催など、地域の介護力向上を図るような具体的な構想がある地域に開かれた事業者について、事業者の選定時に優先順位をつけるなどして、誘致を行うこととする。

③ 当該市町村が未来志向の事業又は先駆性の高い事業を実施している →指標8関係

実施の有無	具体的な事業内容
有	練馬区は16年度、17年度に認知症や認知症予防のための庁内組織および区民参加の懇談会組織を設置し検討してきた。また、17年度に認知症予防推進員養成や認知症予防対策高齢者生活実態調査を実施した。平成18年度より新たに東京都老人総合研究所方式を参考にした地域型認知症予防プログラムをモデル地区にて実施する。今後、地域型認知症予防プログラムや認知症予防推進員活動を区内全域で展開できるよう拡充していく。
無	

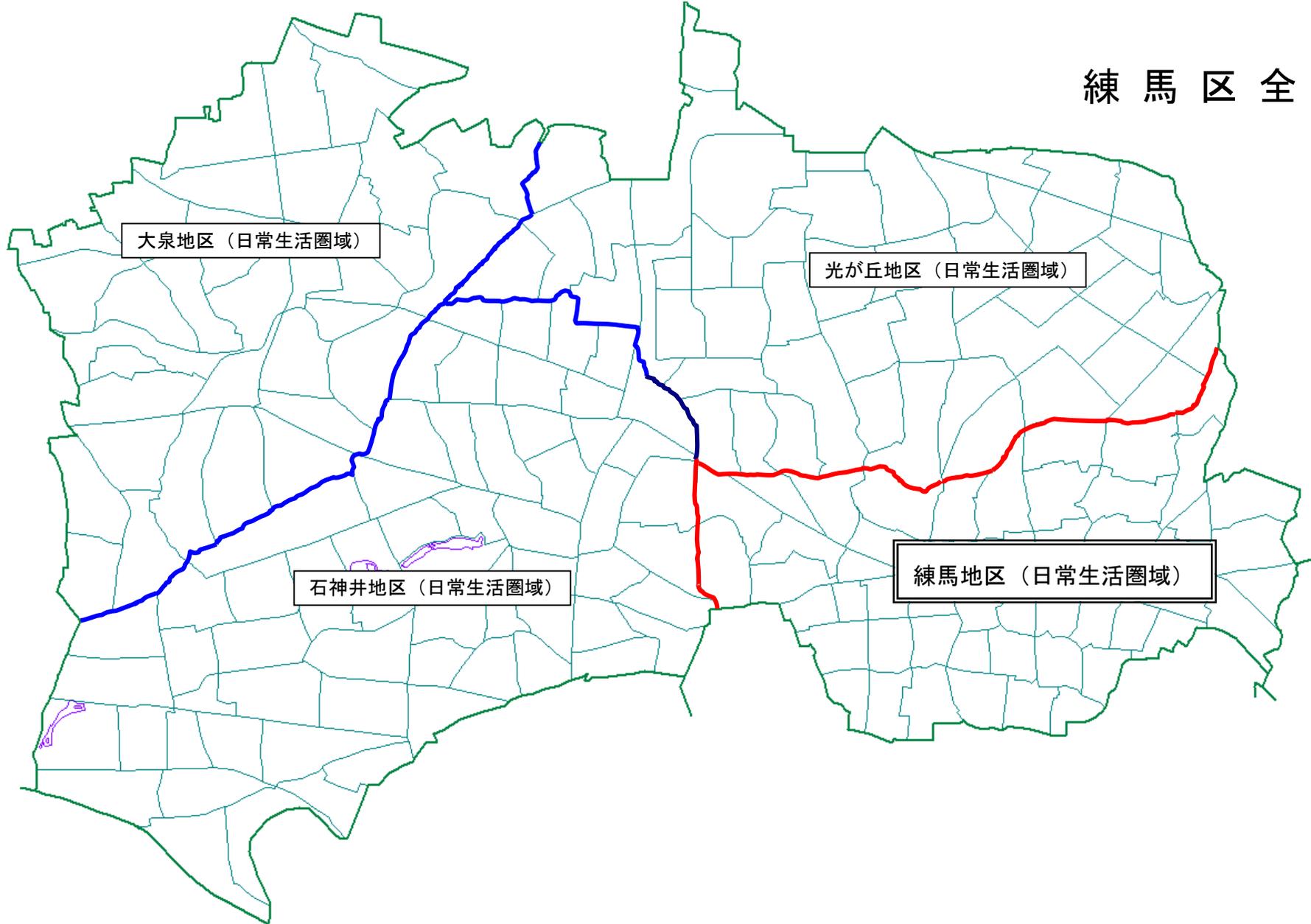
④ 当該市町村が給付適正化事業を実施している →指標9関係

実施有り	・	実施無し
------	---	------

⑤ 内閣府による地域再生の評価結果等の反映 →指標10関係

提出あり	S	・	A	・	B
------	---	---	---	---	---

練馬区全図



練馬地区（日常生活圏域）

- ◎ 特別養護老人ホーム・老人ショートステイ
- ☆ 訪問看護ステーション
- ⊕ 介護予防拠点
(未整備)
- △ 認知症高齢者グループホーム
- ◇ 認知症対応型デイサービスセンター
- ⊕ 老人保健施設
- ★ 夜間対応型訪問介護ステーション
(未整備)
- ⊕ 介護予防拠点
- 地域包括支援センター

